

新幼稚園における幼児教育について

平成31年4月に開園する新しい公立幼稚園では、施設・設備などのハード面での充実に加え、既設12園の2園への集約に伴い職員体制が大幅に強化されるため、新しい幼稚園教育要領に基づく「津山らしい幼児教育」（下記）の実施や3歳児保育の開始など、ソフト面での更なる充実も図っていきます。

「津山らしい幼児教育」とは、「津山市教育振興基本計画」で掲げた基本理念並びに「津山市立教育・保育施設再構築」で掲げた基本理念及び公立幼稚園の7つの役割を踏まえ、津山の自然、歴史、文化、産業等の特色を活かしながら行う幼児教育を指します。

津山市教育振興基本計画

○基本理念「つなぐ力を育む」 ～あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて～

津山市立教育・保育施設再構築計画

○基本理念「津山市における幼児教育の理念と展望」《健康な心と体、自信と信頼、命と自然、豊かな情操と賢さ》

○公立幼稚園の7つの役割

《教育水準の確保、教育の質向上、先進的・実験的教育、社会的支援、特別支援、子育て支援、保幼小連携》

【教育目標】 心豊かでたくましい子どもを育てる

めざす子ども像

元気いっぱい 笑顔いっぱい 大好き幼稚園

【園経営目標】

- 主体的に生活し、夢中になって遊ぶ子どもの育成
- 身近な人々や自然・物とのかかわりを通した心豊かな子どもの育成
- 基本的生活習慣の定着や規範意識の育成

新幼稚園の取組・体制

○3歳児の受入れ

子どもの適切な育ちを保障するため、3歳児保育を開始します。

○通園バスの運行

保護者の送迎の負担を軽減するため、通園バスを運行します。

○給食体験の実施

小学校生活にスムーズにつながるよう、給食体験を実施します。

○子育て支援の充実

専任の教師が専用の部屋と庭を使って子育て家庭の支援を行います。

○一時預かりの実施

教育時間終了後や夏休み等長期休業期間中の一時預かり（延長保育）を継続実施します。

○特別支援教育の充実

専任の教師を中心に、インクルーシブ教育(※)の推進や専用室を使った子育て相談の実施に取り組みます。

※すべての子どもたちの多様なニーズに対応しながら、共に学び、共に育つ教育

○保幼小連携の推進

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を小学校の教師と共有し、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図ります。

○職員体制の充実

専門性の高い職員集団が研究・研修を推進し、保育の質を一層高めていきます。

【お問い合わせ先】津山市こども課 ☎32-2179